

**NEWS RELEASE**

令和4年8月8日

独立行政法人日本スポーツ振興センター

広報室

安全に登山を行うためのSNSにおける集中的情報発信について

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC：Japan Sport Council）が管理・運営する国立登山研修所（富山県中新川郡立山町）は、近年、多くの方が登山を楽しまれている一方で山岳遭難事故の高止まりが続いている状況を受け、山の日（8月11日）の前後の時期において集中的に、安全に登山を行うための情報等をSNSを活用して発信しますので、お知らせいたします。

依然として、新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向が続いておりますが、一方で行動制限のない夏季休暇を迎え、登山人口の増加が予想されます。JSCでは、幅広い層の登山者に安全に登山を楽しんで頂くべく、ソーシャルメディアにて集中的に情報発信を行います。さらに、趣旨に賛同頂いた登山関連用品の小売企業等のSNSにおいても、一部の投稿をリツイート等により情報発信を支援頂きます。本取組は、夏季休暇期間を中心に試行的に3週間の情報発信を行います。今回の取組を踏まえ、外部連携の拡大とさらなる情報発信に繋げてまいります。

※警察庁の発表によりますと、過去10年間の山岳遭難発生状況をみると、増加基調で推移していたのが、令和元年から2年連続で減少したものの、令和3年は増加に転じております。（別紙1参照）

発信内容： 国立登山研修所の刊行物等を中心とした安全に登山を行うための情報等

期 間： 8月8日（月）～8月31日（水）

発信媒体： 日本スポーツ振興センターTwitterアカウント

https://twitter.com/japansport_JSC

日本スポーツ振興センターFacebookアカウント

<https://www.facebook.com/JapanSportCouncil>

国立登山研修所Instagramアカウント

<https://www.instagram.com/bunazaka6/?hl=ja>



現時点で御協力いただく企業様：

株式会社石井スポーツ <https://www.ici-sports.com/>

その他複数の企業等からも御協力いただいております。

過去10年間の山岳遭難の発生状況

令和3年における山岳遭難の概況（令和4年6月9日警察庁生活安全局生活安全企画課）より引用

概要

	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	構成比
	発生件数（件）	1,988	2,172	2,293	2,508	2,495	2,583	2,661	2,531	2,294	2,635
遭難者数（人）	2,465	2,713	2,794	3,043	2,929	3,111	3,129	2,937	2,697	3,075	100.0%
死者・行方不明者	284	320	311	335	319	354	342	299	278	283	9.2%
死者	249	278	272	298	278	315	298	267	241	255	8.3%
行方不明者	35	42	39	37	41	39	44	32	37	28	0.9%
負傷者	927	1,003	1,041	1,151	1,133	1,208	1,201	1,189	974	1,157	37.6%
無事救出者	1,254	1,390	1,442	1,557	1,477	1,549	1,586	1,449	1,445	1,635	53.2%

情報発信の例

発信内容は、既に独立行政法人日本スポーツ振興センターのウェブサイト等からアクセスできる情報等を中心に行います。

例 1 山岳遭難セーフティーカード

入山前のアドバイスや道迷い・事故が発生した場合の対処について記載しております。折り畳み式になっており、ポケットに収まるサイズです。

例 2 読図とナビゲーション

遭難防止に必要な、先読み→ルート維持→現在地把握のサイクルについて解説したYouTube動画です。

